

2026 年度

各教科の学習と評価 (シバス)

シバスとは、教員が生徒及び保護者に配布する授業計画のことです。各教科の目標、学習内容や評価の観点、方法等が含まれています。



学年	教科	使用副教材
中学 1 年	国語	漢字ワーク・教科書ワーク・文法ワーク・国語便覧

教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、
国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。

1 年間の授業予定 (代表的な教材)	1 学期	2 学期	3 学期
	文学『はじまりの風』 説明『ダイコンは～』『ちょっと～』 詩・古典『朝のリレー』『空の詩』 文法『言葉の単位』等	文学『大人に～』『星の花が～』 説明『「言葉」～』『「不便」～』 詩・古典『蓬萊～』『今に生きる～』 文法『文の組み立て』等	文学『少年の日の～』『二十歳～』 詩・古典『ぼくがここに～』 文法『単語の分類』等

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使っている。	定期テスト 授業課題等
思考力 判断力 表現力	「話すこと・書くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	定期テスト 授業課題等
主体的に学習に 取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。	定期テスト 授業課題等

学年	教科	使用副教材
中学 2 年	国語	漢字ワーク・教科書ワーク・文法ワーク・国語便覧

教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、
国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。

1 年間の授業予定 (代表的な教材)	1 学期	2 学期	3 学期
	文学『アイス～』『短歌～』 説明『クマゼミ～』『』 詩・古典『見えない～』『枕草子』 文法『自立語』等	文学『ヒューマノイド』『字の～』 説明『モアイ～』『君は～』 詩・古典『扇～』『仁和～』『漢詩』 文法『用言の活用』等	文学『走れメロス』 詩・古典『鍵』 文法『付属語』等

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使っている。	定期テスト 授業課題等
思考力 判断力 表現力	「話すこと・書くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	定期テスト 授業課題等
主体的に学習に 取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。	定期テスト 授業課題等

学年	教科	使用副教材
中学 3 年	国語	漢字ワーク・教科書ワーク・文法ワーク・国語便覧

教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、
国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。

1 年間の授業予定 (代表的な教材)	1 学期	2 学期	3 学期
	文学『握手』 説明『作られた物語を超えて』 詩・古典『俳句』 文法『文法を生かす』	文学『故郷』 説明『それでも、言葉を』 詩・古典『挨拶』『和歌』『夏草』 文法『文法のまとめ』等	文学『文学的文章のまとめ』 説明『説明的文章のまとめ』 詩・古典『詩・古典のまとめ』 文法『問題演習』等

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使っている。	定期テスト 授業課題等
思考力 判断力 表現力	「話すこと・書くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	定期テスト 授業課題等
主体的に学習に 取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。	定期テスト 授業課題等

学年	教科	使用副教材
中学1年	数学	ワーク・レスキュー99

教科の目標

数量、図形などに関する基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力・判断力・表現力を身につける。

数学の良さを知り、数学と実社会との関連について理解を深め、数学を主体的に生活や学習に生かそうとし、問題解決の過程を評価・改善しようとするなど、数学的に考える資質・能力を身につける。

	1学期	2学期	3学期
1年間の授業予定	正の数・負の数 文字の式	方程式 変化と対応 平面図形	空間図形 データの活用

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> 数量や図形などについての基礎的な概念や原理法則などを理解している。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。 	定期テスト、小テスト、発言、授業の様子
思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・的確に表現する力を身につけている。 	定期テスト、小テスト、発言、授業の様子
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して、粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。 	定期テスト、小テスト、授業態度、挙手発言、レポート、提出物等

学年	教科	使用副教材
中学2年	数学	ワーク・スピード80

教科の目標

数量、図形などに関する基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力・判断力・表現力を身につける。

数学の良さを知り、数学と実社会との関連について理解を深め、数学を主体的に生活や学習に生かそうとし、問題解決の過程を評価・改善しようとするなど、数学的に考える資質・能力を身につける。

1年間の授業予定	1学期	2学期	3学期
	式の計算 連立方程式	一次関数 $y = ax + b$ 図形の調べ方 図形の性質と証明	場合の数と確率 箱ひげ図とデータの活用

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> 数量や図形などについての基礎的な概念や原理法則などを理解している。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。 	定期テスト、小テスト、発言、授業の様子
思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・的確に表現する力を身につけている。 	定期テスト、小テスト、発言、授業の様子
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して、粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。 	定期テスト、小テスト、授業態度、挙手発言、レポート、提出物等

学年	教科	使用副教材
中学3年	数学	ワーク・スピード80

教科の目標

数量、図形などに関する基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力・判断力・表現力を身につける。

数学の良さを知り、数学と実社会との関連について理解を深め、数学を主体的に生活や学習に生かそうとし、問題解決の過程を評価・改善しようとするなど、数学的に考える資質・能力を身につける。

	1学期	2学期	3学期
1年間の授業予定	式の展開と因数分解 平方根 二次方程式	関数 $y = ax^2$ 図形と相似 円の性質	三平方の定理 標本調査とデータの活用

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> 数量や図形などについての基礎的な概念や原理法則などを理解している。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。 	定期テスト、小テスト、発言、授業の様子
思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・的確に表現する力を身につけている。 	定期テスト、小テスト、発言、授業の様子
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して、粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。 	定期テスト、小テスト、授業態度、挙手発言、レポート、提出物等

学年	教科	使用副教材
中学2年	英語	教科書ワーク、ノート、World Classroom

教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成すること。

1年間の授業予定	1学期	2学期	3学期
	Unit0～Stage Activity 1	Unit5～Stage Activity 2	Unit9～Let's Read

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	パフォーマンス課題における英語使用における正確さ 言語活動で使用したワークシートへの記述 言語活動での英語使用における正確さ 英語使用の正確さを評価する問題	パフォーマンステスト ワークシート 活動観察 ペーパーテスト
思考力 判断力 表現力	パフォーマンス課題で設定された目的や場面、状況等での、英語使用における内容・表現の適切さ 言語活動で使用したワークシートへの記述 言語活動での英語使用における内容・表現の適切さ 英語使用における内容・表現の適切さを評価する問題	パフォーマンステスト ワークシート 活動観察 ペーパーテスト
主体的に学習に 取り組む態度	課題等に取り組む態度 記述内容の分析（粘り強い取組や自己調整の様子、取組の変容など） 言語活動の記録から生徒の変容を分析 言語活動においてよりよく伝えようとする工夫等、相手への配慮の様子、振り返りの記述内容が活動への取組に表出している様子 言語活動で使用したワークシートへの記述	パフォーマンステスト 振り返りカード ポートフォリオ・活動観察 ワークシート

学年	教科	使用副教材
中学2年	英語	教科書ワーク、ノート、World Classroom

教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成すること。

1年間の授業予定	1学期	2学期	3学期
	Unit1～Let's Read 1	Unit4～Let's Read 2	Unit7～Let's Read 3

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	パフォーマンス課題における英語使用における正確さ 言語活動で使用したワークシートへの記述 言語活動での英語使用における正確さ 英語使用の正確さを評価する問題	パフォーマンステスト ワークシート 活動観察 ペーパーテスト
思考力 判断力 表現力	パフォーマンス課題で設定された目的や場面、状況等での、英語使用における内容・表現の適切さ 言語活動で使用したワークシートへの記述 言語活動での英語使用における内容・表現の適切さ 英語使用における内容・表現の適切さを評価する問題	パフォーマンステスト ワークシート 活動観察 ペーパーテスト
主体的に学習に 取り組む態度	課題等に取り組む態度 記述内容の分析（粘り強い取組や自己調整の様子、取組の変容など） 言語活動の記録から生徒の変容を分析 言語活動においてよりよく伝えようとする工夫等、相手への配慮の様子、振り返りの記述内容が活動への取組に表出している様子 言語活動で使用したワークシートへの記述	パフォーマンステスト 振り返りカード ポートフォリオ・活動観察 ワークシート

学年	教科	使用副教材
中学 3 年	英語	新英語のワーク、English Master Notebook World Classroom

教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成すること。

1 年間の授業予定	1 学期	2 学期	3 学期
	Unit1~Let's Read1	Unit4~Unit6	Stage Activity3~Let's Read 3

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	パフォーマンス課題における英語使用における正確さ 言語活動で使用したワークシートへの記述 言語活動での英語使用における正確さ 英語使用の正確さを評価する問題	パフォーマンステスト ワークシート 活動観察 ペーパーテスト
思考力 判断力 表現力	パフォーマンス課題で設定された目的や場面、状況等での、英語使用における内容・表現の適切さ 言語活動で使用したワークシートへの記述 言語活動での英語使用における内容・表現の適切さ 英語使用における内容・表現の適切さを評価する問題	パフォーマンステスト ワークシート 活動観察 ペーパーテスト
主体的に学習に 取り組む態度	課題等に取り組む態度 記述内容の分析（粘り強い取組や自己調整の様子、取組の変容など） 言語活動の記録から生徒の変容を分析 言語活動においてよりよく伝えようとする工夫等、相手への配慮の様子、振り返りの記述内容が活動への取組に表出している様子	パフォーマンステスト 振り返りカード ポートフォリオ・活動観察 ワークシート

学年	教科	使用副教材
中学1年	理科	よくわかる理科の学習（明治図書）

教科の目標		
<p>自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な物質・能力を育成することを目指す。</p>		

1年間の授業予定	1学期	2学期	3学期
	1 いろいろな生物の共通点 2 身のまわりの物質	2 身のまわりの物質 3 光・音・力による現象	4 活きている地球

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	理科プリント 定期テストの知識・技能に関する問題
思考力 判断力 表現力	見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、規則性や関係性を見出して表現しているなど、科学的に探究している。	理科プリント 定期テストの思考に関する問題
主体的に学習に取り組む態度	理科に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	実験観察への取り組み 発表・発言 理科プリント ノート・ワークの提出状況

学年	教科	使用副教材
中学2年	理科	よくわかる理科の学習（明治図書）・CRE

教科の目標
自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な物質・能力を育成することを目指す。

1年間の授業予定	1学期	2学期	3学期
	1 生物の体のつくりとはたらき 3 化学変化と原子・分子	1 生物の体のつくりとはたらき 3 化学変化と原子・分子	2 地球の大気と天気の様子 4 電流とその利用

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	理科プリント 定期テストの知識・技能に関する問題
思考力 判断力 表現力	見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、規則性や関係性を見出して表現しているなど、科学的に探究している。	理科プリント 定期テストの思考に関する問題
主体的に学習に 取り組む態度	理科に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	実験観察への取り組み 発表・発言 理科プリント ノート・ワークの提出状況

学年	教科	使用副教材
中学3年	理科	よくわかる理科の学習（明治図書）/CRE

教科の目標		
<p>自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な物質・能力を育成することを目指す。</p>		

1年間の授業予定	1学期	2学期	3学期
	生命の連続性 化学変化とイオン	化学変化とイオン 運動とエネルギー 宇宙を観る	宇宙を観る 自然と人間

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	<p>科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	理科プリント 定期テストの知識・技能に関する問題
思考力 判断力 表現力	<p>見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、規則性や関係性を見出して表現しているなど、科学的に探究している。</p>	理科プリント 定期テストの思考に関する問題
主体的に学習に 取り組む態度	<p>理科に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	実験観察への取り組み 発表・発言 理科プリント ノート・ワークの提出状況

学年	教科	使用副教材
中学1年	社会科	教科書・ワーク・資料集・地図帳

教科の目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

	1学期	2学期	3学期
1年間の授業予定	(地理)世界と日本の地域構成 (地理)人々の生活と環境 (歴史)古代までの日本	(歴史)古代までの日本 (地理)世界の諸地域	(地理)世界の諸地域 (歴史)中世の日本

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	日本の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	定期テスト 小テスト 授業内課題
思考力 判断力 表現力	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	定期テスト 授業内課題
主体的に学習に 取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト 授業内課題 提出物

学年	教科	使用副教材
中学2年	社会科	教科書・ワーク・資料集・地図帳

教科の目標
<p>広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。</p>

1年間の授業予定	1学期	2学期	3学期
	(地理)日本の諸地域	(歴史)近世の日本 (地理)日本の諸地域	(歴史)近代の日本

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	日本の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	定期テスト 授業内課題
思考力 判断力 表現力	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	定期テスト 授業内課題
主体的に学習に 取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト 授業内課題 提出物

学年	教科	使用副教材
中学3年	社会科	教科書ワーク 資料集

教科の目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

	1学期	2学期	3学期
1年間の授業予定	(歴史)二度の世界大戦と日本 (歴史)現代の日本と私たち (公民)現代社会と私たち	(公民)現代社会と私たち (公民)個人の尊重と憲法 (公民)私たちの暮らしと経済	(公民)私たちの暮らしと経済 (公民)地球社会と私たち

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	日本の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	定期テスト 小テスト 授業内課題
思考力 判断力 表現力	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	定期テスト 授業内課題
主体的に学習に 取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト 授業内課題 提出物

学年	教科	使用副教材
中学1年	音楽	コーラスフェスティバル

教科の目標

表現（歌唱、器楽、創作）や鑑賞の活動を通して、様々な音楽に親しみを感じたり、美しいものを追及する。単に、表現の技術や知識を身に付けることが目的ではなく、授業で身に付けたことを通して、生活を明るく豊かなものにすることが音楽科の目標である。

	1学期	2学期	3学期
1年間の授業予定	歌唱（校歌、「浜辺の歌」） 鑑賞（映画音楽、「春」） 創作	歌唱（合唱コンクール） 鑑賞（魔王） 器楽（箏）	鑑賞（日本の民謡） 歌唱（卒業式の歌） 創作

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲の背景や構造と、曲想の関わりについて理解しているか。 ・ 音楽表現をするために必要な技能を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実技テスト ・ 期末テスト
思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽を形づくっている要素を知覚し、どのように表すかについて思いや意図をもっているか。 ・ 音楽を形づくっている要素を知覚し、音楽のよさを美しさを味わって聴いているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシート ・ 期末テスト
主体的に学習に 取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に音楽表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業内の学習活動に取り組む態度 ・ ワークシート ・ 振り返りシート

学年	教科	使用副教材
中学2年	音楽	コーラスフェスティバル

教科の目標

表現（歌唱、器楽、創作）や鑑賞の活動を通して、様々な音楽に親しみを感じたり、美しいものを追及する。単に、表現の技術や知識を身に付けることが目的ではなく、授業で身に付けたことを通して、生活を明るく豊かなものにすることが音楽科の目標である。

	1学期	2学期	3学期
1年間の授業予定	歌唱（「翼をください」「夏の思い出」） 鑑賞（「フーガト短調」） 創作	歌唱（合唱コンクール） 鑑賞（「交響曲第5番ハ短調」） 器楽（ギター）	鑑賞（歌舞伎「勧進帳」） 歌唱（卒業式の歌） 創作

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲の背景や構造と、曲想の関わりについて理解しているか。 ・ 音楽表現をするために必要な技能を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実技テスト ・ 期末テスト
思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽を形づくっている要素を知覚し、どのように表すかについて思いや意図をもっているか。 ・ 音楽を形づくっている要素を知覚し、音楽のよさを美しさを味わって聴いているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシート ・ 期末テスト
主体的に学習に 取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に音楽表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業内の学習活動に取り組む態度 ・ ワークシート ・ 振り返りシート

学年	教科	使用副教材
中学2年	音楽	コーラスフェスティバル

教科の目標

表現（歌唱、器楽、創作）や鑑賞の活動を通して、様々な音楽に親しみを感じたり、美しいものを追及する。単に、表現の技術や知識を身に付けることが目的ではなく、授業で身に付けたことを通して、生活を明るく豊かなものにすることが音楽科の目標である。

	1学期	2学期	3学期
1年間の授業予定	歌唱（「花」、学年合唱） 鑑賞（「ブルタバ」） 創作	歌唱（合唱コンクール） 鑑賞（「民族音楽」） 器楽（ギター）	鑑賞（「ボレロ」） 歌唱（卒業式の歌） 創作

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲の背景や構造と、曲想の関わりについて理解しているか。 ・ 音楽表現をするために必要な技能を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実技テスト ・ 期末テスト
思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽を形づくっている要素を知覚し、どのように表すかについて思いや意図をもっているか。 ・ 音楽を形づくっている要素を知覚し、音楽のよさを美しさを味わって聴いているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシート ・ 期末テスト
主体的に学習に 取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に音楽表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業内の学習活動に取り組む態度 ・ ワークシート ・ 振り返りシート

学年	教科	使用副教材
中学1年	保健体育	

教科の目標

運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践できるようにするため、運動や体力の必要性について理解を深め、基本的な技能を身に付ける。運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考・判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、協力する、役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育て、安全に留意して自己の最善を尽くす態度を養う。

1年間の授業予定	1学期	2学期	3学期
	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動 ・新体カテスト ・陸上競技 ・器械運動 ・水泳 	<ul style="list-style-type: none"> ・バドミントン ・ソフトボール ・バレーボール ・ハンドボール 	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道 ・ダンス ・サッカー ・バスケットボール

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	運動の特性や成り立ち、健康・安全に関する知識を理解している。 各種運動の基本的な技能や、健康・安全に関する基本的な技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・知識テスト（単元ごと） ・学習カード等の記述内容 ・実技記録および結果等の実績 等
思考力 判断力 表現力	運動や健康に関する自他の課題を発見し、その合理的な解決に向けて思考・判断している。 考えたことや解決の方法などを、他者に適切に伝えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・知識テスト（単元ごと、文章記述問題等） ・学習カード等の記述内容 ・安全に対する配慮 等
主体的に学習に 取り組む態度	運動に積極的に（または自主的に）取り組み、公正な態度、仲間との協力、自己の役割の遂行、他者の尊重などを大切にしようとしている。 健康・安全を確保し、生涯にわたって運動に親しもうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参加日数 ・運動に適した服装 望ましい態度 安全に対する配慮 ・行動の状況 仲間との協力性 リーダーシップ等

学年	教科	使用副教材
中学2年	保健体育	

教科の目標

運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践できるようにするため、運動や体力の必要性について理解を深め、基本的な技能を身に付ける。運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考・判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、協力する、役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育て、安全に留意して自己の最善を尽くす態度を養う。

1年間の授業予定	1学期	2学期	3学期
	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動 ・新体カテスト ・陸上競技 ・器械運動 ・水泳 	<ul style="list-style-type: none"> ・バドミントン ・ソフトボール ・バレーボール ・ハンドボール 	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道 ・ダンス ・サッカー ・バスケットボール

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	運動の特性や成り立ち、健康・安全に関する知識を理解している。 各種運動の基本的な技能や、健康・安全に関する基本的な技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・知識テスト（単元ごと） ・学習カード等の記述内容 ・実技記録および結果等の実績 等
思考力 判断力 表現力	運動や健康に関する自他の課題を発見し、その合理的な解決に向けて思考・判断している。 考えたことや解決の方法などを、他者に適切に伝えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・知識テスト（単元ごと、文章記述問題等） ・学習カード等の記述内容 ・安全に対する配慮 等
主体的に学習に 取り組む態度	運動に積極的に（または自主的に）取り組み、公正な態度、仲間との協力、自己の役割の遂行、他者の尊重などを大切にしようとしている。 健康・安全を確保し、生涯にわたって運動に親しもうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参加日数 ・運動に適した服装 望ましい態度 安全に対する配慮 ・行動の状況 仲間との協力性 リーダーシップ等

学年	教科	使用副教材
中学3年	保健体育	

教科の目標

運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践できるようにするため、運動や体力の必要性について理解を深め、基本的な技能を身に付ける。運動についての自己や仲間の課題を発見し、その合理的な解決に向けて思考・判断し、それらを他者に伝える力を養う。競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にすることなどの意欲を育て、安全を確保して生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。

1年間の授業予定	1学期	2学期	3学期
	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動 ・新体力テスト ・陸上競技 ・器械運動 ・水泳 	<ul style="list-style-type: none"> ・バドミントン ・ソフトボール ・バレーボール ・ハンドボール 	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道 ・ダンス ・サッカー ・バスケットボール

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	運動の名称や行い方に加え、「体力の高め方」「運動観察の方法」、を理解しているか。各種目の基本的な技能を「滑らかに安定して」**行い、自分の適性に応じた技の構成や連携した動きができていくか	<ul style="list-style-type: none"> ・知識テスト（単元ごと） ・学習カード等の記述内容 ・実技記録および結果等の実績 等
思考力 判断力 表現力	「自己や仲間の課題」を発見し、その合理的な解決（練習方法の工夫や作戦の立案など）に向けて思考・判断しているか。自分に適した関わり方の発見などについて考えているか。考えたことや解決策を、他者に言葉や文章、動作で適切に伝えているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・知識テスト（単元ごと、文章記述問題等） ・学習カード等の記述内容 ・安全に対する配慮 等
主体的に学習に 取り組む態度	運動に「自主的」に取り組む、粘り強く練習したり、自己や仲間の課題解決に向けて取り組もうとしているか。合意した役割に「責任」をもって取り組み、話し合いに貢献し、一人一人の違いを大切にしようとしているか。自ら体調や周囲の状況を判断し、「安全を確保」して運動に親しもうとしているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参加日数 ・運動に適した服装 望ましい態度 安全に対する配慮 ・行動の状況 仲間との協力性 リーダーシップ等

学年	教科	使用副教材
中学1年	美術	アクリルガッシュ絵具・ファイル

教科の目標

(1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育くむ。(2) 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育くむ。(3) 自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育くむ。

	1学期	2学期	3学期
1年間の授業予定	色について 印象に残るロゴマーク 暮らしをいろいろ文様(平面構成) 写真を撮る楽しさ(写真・鑑賞)	版の表現を味わう (エコバックづくり) 木と親しむ暮らし (ボールペンづくり)	見つけ、感じ取り、描く(鉛筆デッサン) 響き合う形と色(CDジャケットづくり) 文字で楽しく伝える(レタリング) 遠近法について

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 	<ul style="list-style-type: none"> 完成作品 小テスト 定期テスト
思考力 判断力 表現力	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し、豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	<ul style="list-style-type: none"> 完成作品 定期テスト アイデアスケッチ 作品カード オクリンクプラスの提出物
主体的に学習に 取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 自己評価カード オクリンクプラスの制作過程 提出物、忘れ物

学年	教科	使用副教材
中学2年	美術	アクリルガッシュ絵具・ファイル・資料集

教科の目標

(1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。(2) 対象を深く見詰め感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。(3) 自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

1年間の授業予定	1学期	2学期	3学期
	色について 季節感のある暮らし(うちわづくり) 日本の絵画を楽しむ五つのキーワード(鑑賞) 写真を撮る楽しさ(写真・鑑賞)	躍動感を捉える (粘土制作) 形と色の挑戦 (CDジャケットづくり)	見つけ、感じ取り、描く (静物着彩) 心を動かすアニメーション (コマどりアニメ)

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 	<ul style="list-style-type: none"> 完成作品 小テスト 定期テスト
思考力 判断力 表現力	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し、豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	<ul style="list-style-type: none"> 完成作品 定期テスト アイデアスケッチ 作品カード オクリンクプラスの提出物
主体的に学習に 取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 自己評価カード オクリンクプラスの制作過程 提出物、忘れ物

学年	教科	使用副教材
中学3年	美術	アクリルガッシュ絵具・ファイル・資料集

教科の目標

(1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。(2) 対象を深く見詰め感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。(3) 自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

	1学期	2学期	3学期
1年間の授業予定	形と色の挑戦(石の抽象彫刻) 地域の魅力を表すパッケージ (パッケージデザイン) 写真を撮る楽しさ(写真・鑑賞)	今の自分、これからの自分 (自画像制作) 伝統工芸について (鑑賞)	暮らしの中のデザイン・工芸 (金属加工) 私たちに問いかける美術 (鑑賞)

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	・完成作品 ・小テスト ・定期テスト
思考力 判断力 表現力	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し、豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・完成作品 ・定期テスト ・アイデアスケッチ ・作品カード ・オクリンクプラスの提出物
主体的に学習に 取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。	・授業態度 ・自己評価カード ・オクリンクプラスの制作過程 ・提出物、忘れ物

学年	教科	使用副教材
中学1年	技術	ミラクルラック/チャットラン

教科の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それにかかわる技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関りについて理解を深める。

(2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。

(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

1年間の授業予定	1学期	2学期	3学期
	<ul style="list-style-type: none"> ○材料と加工の技術の原理・法則と仕組み ○材料と加工の技術による問題解決 (木材加工による製作) ○社会の発展と材料と加工の技術 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報の技術の原理・法則と仕組み ○双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決 	

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・技術に関する基本的な知識を理解している ・工具や機器を安全に正しく扱うことができる ・手順に沿って製作・操作を行うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト ・製作した作品（作業工程も含む）
思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に応じて適切な方法を選択している ・よりよい方法を考え、工夫している ・自分の考えや工夫を分かりやすく表現している 	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト ・授業の課題
主体的に学習に 取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に活動に取り組んでいる ・粘り強く課題に向き合っている ・振り返りを行い、改善しようとしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト ・授業の振り返り ・題材（課題）への振り返り 等

学年	教科	使用副教材
中学2年	技術	豆苗/ウッディキューブラジオ

教科の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それにかかわる技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関りについて理解を深める。

(2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。

(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

1年間の授業予定	1学期	2学期	3学期
		<ul style="list-style-type: none"> ○生物育成の技術の原理・法則と仕組み ○生物育成の技術による問題解決 ○社会の発展と生物育成の技術 	<ul style="list-style-type: none"> ○エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み ○エネルギー変換の技術による問題解決（電気製品の製作） ○社会の発展とエネルギー変換の技術

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・技術に関する基本的な知識を理解している ・工具や機器を安全に正しく扱うことができる ・手順に沿って製作・操作を行うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト ・製作した作品（作業工程も含む）
思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に応じて適切な方法を選択している ・よりよい方法を考え、工夫している ・自分の考えや工夫を分かりやすく表現している 	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト ・授業の課題
主体的に学習に 取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に活動に取り組んでいる ・粘り強く課題に向き合っている ・振り返りを行い、改善しようとしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト ・授業の振り返り ・題材（課題）への振り返り 等

学年	教科	使用副教材
中学3年	技術	プロロボ

教科の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それにかかわる技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関りについて理解を深める。

(2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。

(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

1年間の授業予定	1学期	2学期	3学期
	○情報の技術の原理・法則と仕組み ○計測・制御のプログラミングによる問題解決	○計測・制御のプログラミングによる問題解決	○計測・制御のプログラミングによる問題解決 ○社会の発展と情報の技術

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・技術に関する基本的な知識を理解している ・工具や機器を安全に正しく扱うことができる ・手順に沿って製作・操作を行うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト ・製作した作品（作業工程も含む）
思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に応じて適切な方法を選択している ・よりよい方法を考え、工夫している ・自分の考えや工夫を分かりやすく表現している 	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト ・授業の課題
主体的に学習に 取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に活動に取り組んでいる ・粘り強く課題に向き合っている ・振り返りを行い、改善しようとしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト ・授業の振り返り ・題材（課題）への振り返り 等

学年	教科	使用副教材
中学1年	家庭	ノートブック、裁縫のキホン

教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。

1年間の授業予定	2学期（10月中旬頃から）	3学期
	<ul style="list-style-type: none"> ○家族・家庭や地域との関わり ○私たちの衣生活 ○私たちの住生活 	○生活に役立つものを作ろう

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	丈夫にきれいに、正しい方法で基礎縫いができる。	基礎縫い（手縫い）
	製作道具を適切な方法で扱っている。ミシンやアイロンを正しく安全に使用している。丈夫にきれいに作品を作ることができる。	作品づくり
	学習内容を十分に理解している。	定期テスト
思考力 判断力 表現力	学習内容を活用しながら、実生活をより良くする方法を工夫している。	ノート
	自分の課題を発見し、課題解決に向けた方法を工夫している。	振り返り
主体的に学習に 取り組む態度	自分の考えや、自分の生活や経験を振り返る具体的な記述がされている。	ノート
	授業で学習したことや、周囲の意見をもとに、自分の今後の学習や生活での実践を活かそうとしている。	振り返り

学年	教科	使用副教材
中学2年	家庭	ノートブック、調理のキホン

教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。

	1学期	2学期（10月中旬頃まで）
1年間の授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ○私たちの住生活 ○健康と食生活 ○食品の選択と保存 	<ul style="list-style-type: none"> ○調理をしよう ○地域の食材と食文化 ○家族・家庭と子どもの成長

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	包丁やガスコンロを正しく安全に扱うことができる。魚や肉を衛生面に気をつけながら調理することができる。	調理実習
	学習内容を十分に理解している。	定期テスト
思考力 判断力 表現力	学習内容を活用しながら、実生活をより良くする方法を工夫している。	ノート
	自分の課題を発見し、課題解決に向けた方法を工夫している。	振り返り
主体的に学習に 取り組む態度	自分の考えや、自分の生活や経験を振り返る具体的な記述がされている。	ノート
	授業で学習したことや、周囲の意見をもとに、自分の今後の学習や生活での実践を活かそうとしている。	振り返り

学年	教科	使用副教材
中学3年	家庭	ノートブック

教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。

	1学期	2学期	3学期
1年間の授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ○家族・家庭と子どもの成長 ○生活の課題と実践 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な消費生活と環境 ○家族・家庭と子どもの成長 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な消費生活と環境 ○幼児の喜ぶおやつ

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	幼児と仲良く、安全に関わる方法を実践することができる（理解している）。	保育実習
	学習内容を十分に理解している。	定期テスト
思考力 判断力 表現力	学習内容を活用しながら、実生活をよりよくする方法を工夫している。	ノート
	学習内容を活用しながら、実生活をよりよくする方法を工夫している。	振り返り
主体的に学習に 取り組む態度	自分の考えや、自分の生活や経験を振り返る具体的な記述がされている。	ノート
	授業で学習したことや、周囲の意見をもとに、自分の今後の学習や生活での実践に活かそうとしている。	振り返り